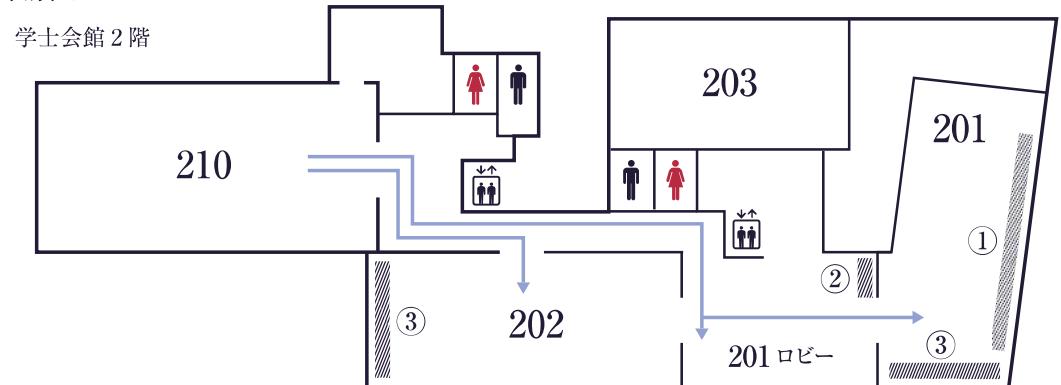


大阪大学の教育研究、社会創造活動の中から
特に社会的インパクトがあり
未来につながる取組をご紹介する新たなイベントです。
大阪大学の魅力をご堪能いただきますとともに
本イベントをとおして、たくさんの"つながり"が築かれ
拡がることを願います。



会場図



報告会会場：210

交流会会場：201, 202

①ポスター展示

②動画放映（重要取組等紹介動画）

③動画放映（キャンパス・広報誌紹介動画）

記念品



アクリルストラップ

コアファシリティ機構工作支援部門が本イベントのために制作したオリジナルストラップ。同部門では、本学の研究者が実験に使いたい実験器具や実験装置をカスタム製作することで、本学独自の教育・研究を支えています。ストラップの紐付け作業は障がい者雇用対策チームのメンバーが行いました。



日本酒緒方洪庵

人間科学研究科の IMPACT オープンプロジェクト「緒方らぼ」が西日本豪雨で被災した愛媛県西予市野村町の復興支援のために作った日本酒「緒方洪庵」。講演会等で人々の集まる旧緒方酒造の蔵の改修や、野村町を訪れボランティア活動をする学生の支援等、利益はすべて西予市野村町の復興まちづくりのために使われています。

お問い合わせ先

大阪大学共創推進部社会連携課卒業生係

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-8

TEL : 06-6879-7198 FAX : 06-6105-5982

E-mail : alumni-info@ml.office.osaka-u.ac.jp

大阪大学 LINKS

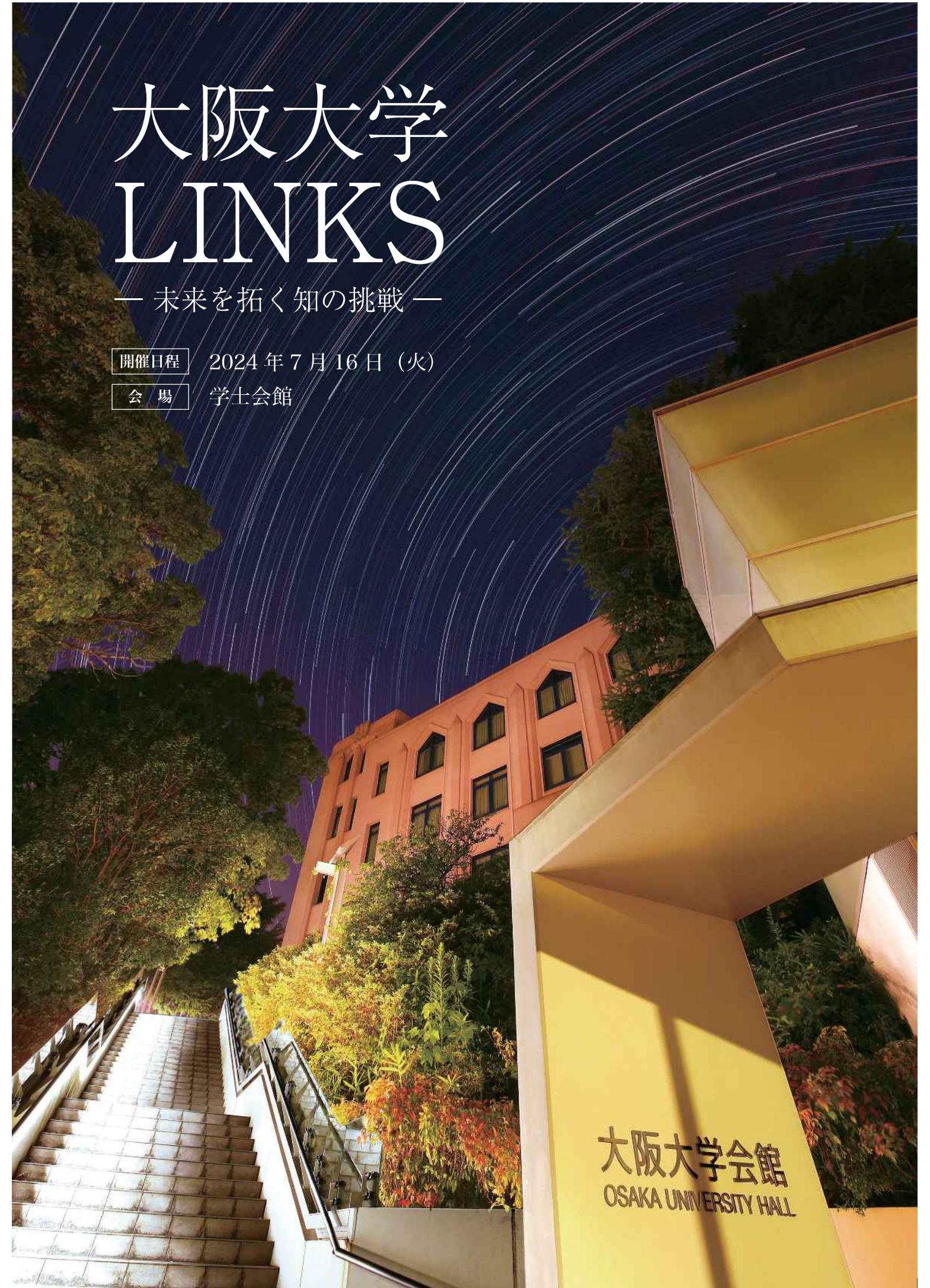
— 未来を拓く知の挑戦 —

開催日程

2024年7月16日(火)

会場

学士会館



大阪大学 LINKS — 未来を拓く知の挑戦 —

[報告会] PM3:00 -

開会挨拶

西尾 章治郎 総長



来賓挨拶

文部科学省

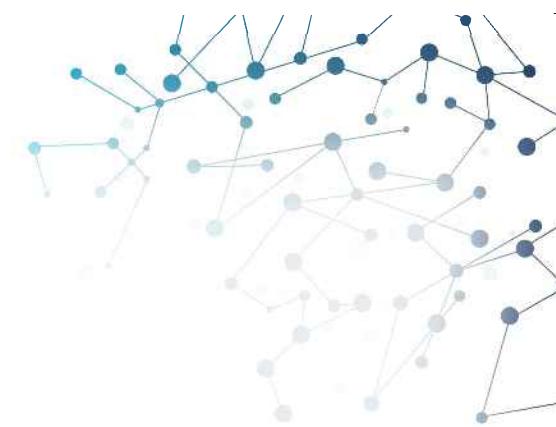
豊岡 宏規 文部科学戦略官



[交流会・ポスター展示] PM5:30 - PM7:00

開会挨拶

金田 安史 理事・副学長



報告会 第1部



スーパー・オーラルヘルスプロモーションを実現する DX 拠点の創生

林 美加子 教授 / 歯学部附属病院

歯学部附属病院は、わが国で唯一データサイエンス部門を持つ歯科専門の国立大学病院であり、Society5.0 時代の先端的な口腔医療を目指すデータサイエンスに秀でた人材を育成しています。本事業では、国際的に口腔・歯科医療をリードする病院として、産学連携にて口腔診断 AI や AI デンタルチェアを開発するなど、口腔保健から健康長寿社会を実現し、世界最大のビッグデータ集積拠点を形成するためのフィージビリティスタディを実施しています。



縦糸の医学と横糸の医学～大阪大学の医学研究紹介～

熊ノ郷 淳 研究科長 / 医学系研究科

医学系研究科は、明日の医学・医療を切り拓き、プロデュースしていくことができる人材育成と、生命現象の本質・真髓を見据えた基礎研究、また臨床研究においても、そこから新たな基礎研究に発展し、病因・病態の真の解明や治療法に繋がる骨太の研究を目指しています。本講演ではそのうち、「免疫研究とその臨床応用」、「iPS 細胞、オルガノイドによる再生医学・医療への展開」について紹介します。



革新的ながん先制医療を切りひらく細胞・個体老化研究の推進

高倉 伸幸 所長 / 微生物病研究所

多くの治療薬の開発がなされてきているものの、がんは依然として死亡原因の第 1 位であり、がん発症による QOL の低下を抑制することは、「生きがいを育む社会を創造する大学」として、本学が取り組むべき喫緊の課題です。微生物病研究所では、前がん状態に介入し、がん発症率を抑制することで「社会的健康寿命」の延伸を目指す先制医療がん老化研究拠点を形成してきており、本講演では最近の研究成果について紹介します。



遺伝子治療の時代に日本が“ガラパゴス”にならないために

名井 陽 教授 / 医学部附属病院

難治病や稀少疾患に対して世界が遺伝子治療で立ち向かう潮流の中で、我が国の遺伝子治療の臨床研究は、既に後塵を拝しており、このままでは遺伝子治療において日本はガラパゴス化してしまいます。その大きな要因の一つは臨床研究の実施を支援する基盤、特に試験薬のウイルスベクターを製造する支援基盤の不足です。基礎研究、橋渡し研究で世界をリードしてきた大阪大学こそ、その使命と社会的要請に応えるべきと考え、取組を開始しています。

報告会 第2部



社会を変える！3D プリンタによるモノづくり—培養肉から洋上風車まで

大政 健史 研究科長 / 工学研究科

近年、3 次元で物体を造形できる 3D プリンタが注目されています。現在、3D プリンタでは、生体材料から大きな構造物まで、様々な物体がオンデマンドで造形可能となっており、次世代のモノづくりとして、大変着目されています。本講演では工学研究科における培養肉から洋上風車まで、3D プリンタによる社会変革を目指した様々な最新事例を紹介します。



大阪大学の DX: ひとりひとりに寄り添う「OID」「OU 人財データプラットフォーム」

館水 徹 教授 / サイバーメディアセンター

大阪大学では、2027 年に向けた「OU マスター プラン」に基づき、教育・研究・経営の DX を進めています。その一環として、本学構成員全員に付与する統合 ID 「OID」と、ひとりひとりに寄り添う「人財データプラットフォーム」の検討・構築を進めています。本講演では大学組織で DX を推進する難しさに対し、どのように考え、取り組んでいるかについてもお話しします。



レジリエンスのあるこころを育成するための連携プラットフォーム構築

下野 九理子 教授 / 連合小児発達研究科

近年のメンタルヘルス悪化の原因として、未診断の神経発達症の存在や環境への不適応が挙げられます。本事業では、プラットフォームを基盤とした小児被験者レジストリの構築により、神経発達症の神経病態解明やバイオマーカーの研究を促進するとともに、小児期からの継続的発達・メンタルヘルスデータ分析によるリスク因子の分析と介入効果の検証を行い、発達段階に応じたメンタルヘルスのスクリーニング体制づくりの礎を構築します。



被災地との社学共創 一人科の教育・研究・実践の社会的インパクト

渥美 公秀 教授 / 人間科学研究科

現在、社学共創（市民と大学人との共創）をより一層進めるだけでなく、その活動が社会にもたらすインパクトを的確に捉えることが求められています。今回は、人間科学研究科が進めてきた社学共創の事例（被災地支援・復興・清酒・花壇など）を紹介し、大阪大学らしい社会的インパクトの把握へと進もうとしている現状をお話します。



ポスター展示一覧

若手教員がのびのびと飛躍する仕掛け：工学研究科テクノアリーナについて／工学研究科

工学研究科では、社会課題解決と未来社会創成に繋がるイノベーション創出のため、各専攻の垣根を超えた教育・研究の分野横断と、若手教員を含む研究者の研究力支援として「テクノアリーナ」と称する教育・研究体制を運用しています。特に、若手研究者が研究環境の整備・資金の獲得など様々なハードルを乗り越え、自身の研究活動を軌道に乗せる仕組みとして「研究コンシェルジュ」制度を推進しています。これらの詳細について紹介します。

戦略的国際共創研究・グローバル D&I 人材育成／接合科学研究所

接合科学研究所では、東アジア、ASEAN、欧米地域等と連携し国際競争力強化に向けた、接合・材料科学に係る最先端研究領域での国際協働研究を通じた「研究知の向上と多様性に富むグローバル人材育成」を目的に、「世界主要大学との接合・材料科学に係る最先端マルチラテラル国際連携・協働研究の推進」と「実践型グローバルアカデミア人材の養成」を実施しています。相乗的に生み出している成果を紹介します。

高速データ収集システムの国際標準化による量子ビーム科学の加速／核物理研究センター

核物理研究センターでは、加速器の高強度化やセンサーの高精細化によって、従来の 1000 倍以上の速さで生み出されるデータを最大限活用するシステムを構築しています。我々が中心となって運営する開発共同体 SPADI Alliance の活動のもと、国内外の施設でデファクト標準化することで、量子ビーム科学の加速を目指します。これは幅広い分野への応用が期待される高速情報処理技術であり、多岐にわたる領域で活躍できる人材育成にも貢献します。

研究教育の「どこでも」「だれでも」を目指す Digital Twin Living Lab. Service／サイバーメディアセンター

サイバーメディアセンターは、情報基盤の研究推進・構築支援業務を担っていますが、喫緊の課題である研究 DX に関するより高度なサービス展開も期待されています。本事業では、Beyond 5G ネットワークサービス、メタバースプラットフォームサービス、Analytics サービスプラットフォームを創出・提供するとともに、仮想世界上で情報・世界観の共有を実現し、実世界における課題解決を図ります。

生命をデータで紡ぐ OU ネットワーク／蛋白質研究所

蛋白質研究所では、一昨年発足した「附属蛋白質先端データ科学研究センター」を中心に、生命医学研究や情報科学研究を進める部局との連携を強めながら、蛋白質構造データと生命科学情報を融合する「生命 DX 研究基盤」の構築を進めています。これらの生命 DX 研究基盤に関わる研究人材の育成や社会人向けリカレント教育、産業界との共創研究を促進させ、多様なステークホルダーと共に国内外の蛋白質生命科学コミュニティの発展に貢献しています。

産業科学 AI センターの機能改革：AI×αを達成する融合研究プラットフォーム／産業科学研究所

産業科学研究所の基幹研究分野に AI 研究を導入することにより課題解決を行うことを目的として、2019 年 4 月に設置した産業科学研究所附属産業科学 AI センター。5 年間の成果が蓄積された今、OU マスター プラン実現加速事業の採択を受けて、「AI 専人」から「AI 共創融合」へと移行し、他部局・産業界とともに「AI×α」の研究を推進するためのプラットフォームとなり、各研究分野のスピナウト（独立）を目指します。

DE&I レジリエント・キャンパスの創設にむけて

一学生、教職員、地域の多様な困難を受け止め、ともに乗り越えるための試み／人間科学研究科

人間科学研究科は、本学ダイバーシティ & インクルージョンセンターと協働し、OU マスター プラン重点戦略「多様な人材が輝くグローバル戦略と Diversity & Inclusion の進化」において「DE&I 実装キャンパス」の実現を目指す。① 学生と教職員、誰もが利用できパワーアップできる相談室（専門職配置）の設置、② 障がい理解を深め、多様な雇用機会を創出するユニバーサルカフェのオープン、③ 人文社会科学系オナーワークshop プログラムへの「DE&I デザイン」ユニットの新設により、本学の DE&I 研究と教育の新展開を図ります。

医療と社会のダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン支援システムの構築／医学部附属病院

医学部附属病院では、医療におけるダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（多様性・公平性・包摂性）(DEI) を推進するための事業を立ち上げました。「診療科を超えた DEI に関する情報共有とネットワークづくりを支援する情報プラットフォーム」を構築し、そこから得られるナレッジを活かして「医師の柔軟な働き方の創出」と「若手医師のリーダーシップ開発」を行い、「医師のワークライフインテグレーションの向上」を図るとともに、医療を通じて「包摂社会の実現」に寄与することを目指しています。

※会場では、本学の重点取組（量子情報・量子生命研究センター、感染症総合教育研究拠点、ヒューマン・メタバース疾患研究拠点）に関する動画などの放映を行っておりますので是非ご覧ください。（放映場所は裏面参照）

